

令和7年（2025年）9月18日

報道関係 各位

真庭市役所

蒜山ミュージアム

山本修司展：描写する水面^{すいめん}／枯山水^{みなも}の水面

対談 尾崎信一郎×山本修司

現在蒜山ミュージアムで開催中の『山本修司展：描写する水面／枯山水の水面』関連企画のご案内です。

今年3月にオープンしたばかりの鳥取県立美術館・館長尾崎信一郎氏と、本展作家の山本修司氏による対談を行います。1980年代から関西を中心に日本のアートシーンをみてきた尾崎館長の目に、同時期の関西で自らの表現を発展させてきた山本修司の作品と活動は、どのように映っているのか。時代背景や関係のある作品などを含め、近い距離にあった二人ならではの興味深い語らいをお楽しみください

つきましてはご取材・ご掲載くださいますよう、なにとぞよろしくお願いいたします。

開催概要▶ ※詳細は別紙要項をご参照ください。

タイトル： 対談 尾崎信一郎×山本修司

会場： GREENable HIRUZEN 2階フリースペース
(真庭市蒜山ミュージアム隣接)

日時： 令和7年9月27日（土）午後2時～（90分程度）

お問い合わせ先▶

スポーツ・文化振興課（担当 三井）

TEL：0867-42-1178

FAX：0867-42-1416

対談

おさき しんいちろう

尾崎 信一郎 × 山本 修司

(鳥取県立美術館館長)

やまもと しゅうじ

(アーティスト)



2025年9月27日^土14:00～

(90分程度)

■ 会場 GREENable HIRUZEN 2階フリースペース

(真庭市蒜山ミュージアム隣接) 真庭市蒜山上福田1205-220

■ 予約不要、蒜山ミュージアムの入館料のみにてご参加いただけます。

蒜山ミュージアムで開催中の展覧会「山本修司展：描写する水面／^{すいめん}枯山水の水面^{みなも}」のアーティスト、山本修司氏が、今年3月にオープンした鳥取県立美術館の館長、尾崎信一郎氏と対談します。

1980年代から関西を中心に日本のアートシーンをみてきた尾崎館長の目に、同時期の関西で自らの表現を発展させてきた山本修司の作品と活動は、どのように映っているのか。時代背景や関係のある作品などを含め、近い距離にあった二人ならではの興味深い語りをお楽しみください。

尾崎 信一郎
(おさき しんいちろう)
1962年鳥取県生まれ、1992年大阪大学文学部大学院芸術学研究科博士課程単位取得修了。兵庫県立近代美術館、国立国際美術館、京都国立近代美術館の学芸員・研究員・主任研究員を歴任。2006年より鳥取県立博物館に勤務、2021年同館館長、2024年より鳥取県立美術館館長。



山本 修司 (やまもと しゅうじ)
1959年愛媛県生まれ、1982年大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業。ジャンルにとらわれない自由な発想で制作。長年関西を中心に活動し、近年は愛媛県を拠点に活動。個展・グループ展多数。
「産経」2014年 photo: Minamino Kazuo